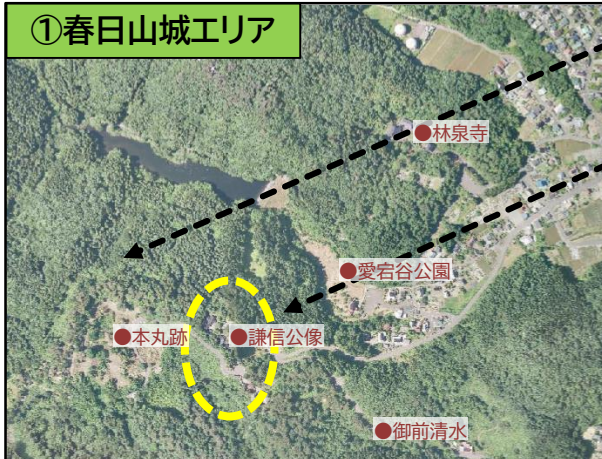


エリア別施策展開

①春日山城エリア



- **植林された杉を伐採**し、現存する最古の写真の姿(約100年前)に復元する。
- **散策道の整備に加え、古道を整備**し、山全体に手入れされた整然さと「城」の風格を創出していく。
- エリア全体に統一した案内サインを整備するとともに、**ベンチ等の休憩施設を整備**する。
- **(仮称)馬場広場**を修景整備するとともに、飲食・物産機能の強化を図る。
- 本丸～(仮称)馬場広場～神社下駐車場の**トイレ配置を再検討し、改修**する。また、**駐車場の在り方を検討し、改修**する。
- 白山、大手道、黒金門の3ルート^④の入口を整備する。



主な事業内容

(1)春日山城エリア整備検討

①春日山城エリア整備計画策定

「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、史跡区域内のトイレや駐車場、散策道、休憩施設、誘導サインの整備計画を策定する。

②デジタルコンテンツ構築

「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、史跡区域内や観光拠点施設で体験するデジタルコンテンツを構築する。

(2)春日山城跡エリア整備【上記①に基づく実施】

③植林伐採

春日山城跡の北側の植林を伐採する。公有地等から段階的に実施していく。

④サイン・ベンチ・散策道・古道改修

階段の木道や安全柵、サイン、ベンチ等の休憩施設を整備する。

⑤エントランス整備

3ルート(大手道、白山、黒金門)の入口を整備する。

⑥愛宕谷公園改修

黒金門ルートの入口として愛宕谷公園を改修する。

⑦(仮称)馬場広場改修

謙信公像の移転検討を含め、(仮称)馬場広場を観光の目的地に相応しい高質な空間として演出するため、近隣地域の民間施設との連携を図りつつ、修景整備を行う。照明、休憩施設等を整備する。

⑧神社下駐車場(トイレ・舗装)改修

トイレや舗装を改修する。

スケジュール

	前期 (R6～R8)	中期 (R9～R10)	後期 (R11～R12)
①春日山城エリア整備計画策定	(観光コンテンツ計画等策定)・計画策定		
②デジタルコンテンツ構築	(観光コンテンツ計画等策定)	コンテンツ構築	
③植林伐採	伐採・維持管理	伐採・維持管理	維持管理
④サイン・ベンチ・散策道・古道改修	(①の策定)	工事	工事
⑤エントランス整備	(①の策定)・設計	工事	
⑥愛宕谷公園改修	(①の策定)・設計	工事	
⑦(仮称)馬場広場改修	(①の策定)・文化庁協議・設計	設計・工事	工事
⑧神社下駐車場(トイレ・舗装)改修	(①の策定)・文化庁協議・設計	工事	

概算事業費

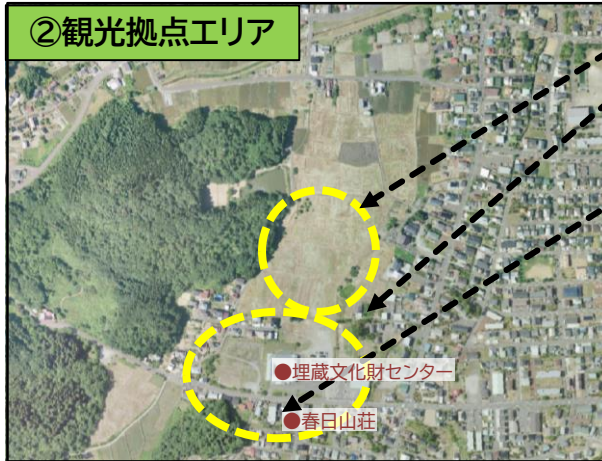
	(百万円)
①春日山城エリア整備計画策定	10
②デジタルコンテンツ構築	20
③植林伐採	42
④サイン・ベンチ・散策道・古道改修	81
⑤エントランス整備	25
⑥愛宕谷公園改修	117
⑦(仮称)馬場広場改修	210
⑧神社下駐車場(トイレ・舗装)改修	36

※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。

※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあつては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

エリア別施策展開

②観光拠点エリア



- **総構**の堀と土塁を復元し、植栽を行う。
- **埋蔵文化財センター周辺敷地**において、休憩、飲食、物産、学習、貸室機能を備えた観光拠点施設を整備する。
シャトルバスを始め二次交通の発着場・主要経由地と位置付け、春日山地域回遊の拠点とする。
- 施設整備や運営は民間ノウハウを活用し、サウンディング型市場調査等により活用候補者選定後、施設整備を行う。
- **春日山荘を除却**し、観光拠点施設と一体的な施設を整備する。



主な事業内容

(1)「総構」復元整備事業

①「総構」復元整備(第1期)

総構の復元整備に向けて構想を検討し、文化庁と必要な協議を行う。※面積が広いため整備は実現可能な箇所から段階的に行う。

- 測量、復元設計・工事(約3ha)
- 植栽(在来種を基準に種類、箇所を検討していく)

(2)観光拠点施設整備事業

②観光拠点施設整備

「観光コンテンツ計画等(P87)」、周辺の敷地の状況を踏まえ、観光拠点施設を整備する。機能は、休憩、飲食、物産、学習、貸室機能とし、規模は約1,500㎡を想定する。(参考事例:妙高高原ビジターセンター=約840㎡)。

③春日山荘跡地整備

春日山城の入口に当たる場所であることから、観光拠点施設の駐車場不足に備えるなど、様々な活用方策を検討する。「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、春日山荘を除却し、利活用に向けて整備する。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①「総構」復元整備(第1期)	探査調査、発掘等、基本設計等	設計、工事	工事
②観光拠点施設整備	(観光コンテンツ計画等策定)・基本計画・設計	工事	
③春日山荘跡地整備	(観光コンテンツ計画等策定)・利活用検討	工事	

概算事業費

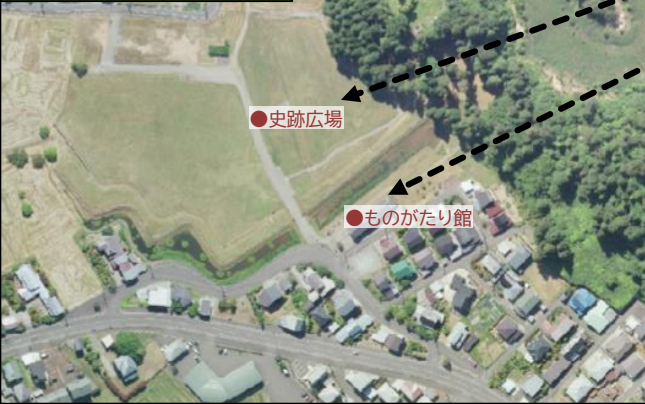
	(百万円)
①「総構」復元整備(第1期)	504
②観光拠点施設整備	2,149
③春日山荘跡地整備	140

※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。

※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

エリア別施策展開

③史跡広場エリア



- 謙信公祭において川中島合戦の再現を行っている **史跡広場**について、**史跡を保存しながらも歴史を感じ楽しむことのできるアウトドア施設などとしての利活用方法を検討**する。
- 埋蔵文化財センター周辺に新たに観光拠点施設を整備することから、現在、春日山城のガイダンス施設と位置付けている「**ものがたり館**」について、**史跡広場と連動した公園管理、飲食、グランピング管理棟等としての機能、運営を検討**する。



主な事業内容

(1)ものがたり館、史跡広場の利活用

①ものがたり館、史跡広場の利活用

「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、歴史を感じ楽しむことができるアウトドア施設や飲食などを中心とした利活用に向けて、計画策定、市場調査、実証実験、施設改修を行う。

(2)ものがたり館等の運営体制構築

②ものがたり館等の運営スキーム・体制検討、運営者募集

周辺地域と一体的な運営スキーム・体制の検討を行い、運営者を募集する。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①ものがたり館、史跡広場の利活用	(観光コンテンツ計画等策定)	計画策定・市場調査	実証実験・設計・工事
②ものがたり館等の運営スキーム・体制検討、運営者募集			体制検討・構築

概算事業費

	(百万円)
①ものがたり館、史跡広場の利活用	51
②ものがたり館等の運営スキーム・体制検討、運営者募集	1

※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。
 ※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあつては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

エリア別施策展開

④春日山駅エリア



- 春日謙信交流館に観光案内機能を新たに整備するとともに、電車利用客及びパークアンドライド客の移動手段とするため、二次交通の実証実験を行うとともに、結果を踏まえ二次交通を整備する。
- 春日山城来訪客の玄関口として、春日山駅に春日山城や謙信公の雰囲気を感じることができる設えを整える。



春日謙信交流館



二次交通



春日山駅

主な事業内容

(1)春日謙信交流館の機能拡充改修

①春日謙信交流館観光案内機能改修
「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、増築等の改修により観光案内機能を拡充する。合わせて駅周辺の雰囲気づくりを検討する。

②二次交通拠点機能改修
二次交通の実証実験結果を踏まえ、ロータリーなどの交通機能やレンタサイクル事業スペースの改修により二次交通拠点機能を拡充する。

(2)春日山駅演出事業

③春日山駅演出事業
「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、鉄道事業者と連携し、登城への期待感を高めるための春日山駅のラッピング、発着音の変更など、春日山城や上杉謙信公の雰囲気を演出する取組を検討し、実施する。

スケジュール	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①春日謙信交流館観光案内機能改修	(観光コンテンツ計画等策定)・検討、設計	工事	
②二次交通拠点機能改修		検討・設計	工事
③春日山駅演出事業	(観光コンテンツ計画等策定)・検討・事業者協議	工事	

概算事業費	(百万円)
①春日謙信交流館観光案内機能改修	31
②二次交通拠点機能改修	34
③春日山駅演出事業	5

※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。
 ※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

エリア別施策展開

回遊動線



- 駅からの誘導や歓迎ムードづくりのため、謙信公大通り沿いにサイン及びバナーフラッグを整備する。
- **二次交通**の検討を行うため、シャトルバス、グリーンスローモビリティ及びレンタルサイクルの運行・整備を行う。



グリーンスローモビリティの運行



レンタサイクル整備



誘導サイン整備

主な事業内容

(1) 誘導サイン等整備

① **サイン整備**
「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、統一感のあるサインを整備する。

② **バナーフラッグ整備**
「観光コンテンツ計画等(P87)」を踏まえ、誘導や歓迎ムード演出のため、バナーフラッグを整備する。

(2) 二次交通整備

③ **グリーンスローモビリティ運行**
公共交通による来訪者に向けて、「回遊観光計画(P87)」を踏まえ、春日山駅と(仮称)馬場広場間で、グリーンスローモビリティの実証実験を行う。実験の結果を踏まえ、運行する。

④ **レンタサイクル整備**
公共交通による来訪者に向けて、「回遊観光計画(P87)」を踏まえ、春日山駅周辺において、レンタサイクルの実証実験を行う。結果を踏まえ、整備する。

⑤ シャトルバス運行
車での来訪者に向けて、「回遊観光計画(P87)」を踏まえ、埋蔵文化財センターから春日山神社下駐車場の区間で、シャトルバスの運行、その他の二次交通の可能性を調査するため、冬期を除く週末やハイシーズン等にて実証実験を行う。実験の結果を踏まえ、運行する。

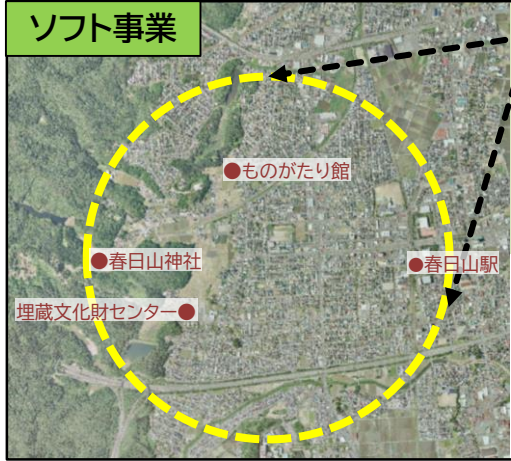
※観光客増加時の駐車場不足や渋滞対策について
○神社下駐車場やアクセス道路は史跡の範囲等であり、「保存管理計画」において地形改変等が制限され、新たな駐車場整備や道路拡幅は困難となっている。
○解決策として、史跡範囲外に十分な駐車場を整備し、障害がある方等を除き、一般車両の進入制限を行うとともに、シャトルバス運行などの移動手段を検討する。
○このほか、交通規制を行う場合でも観光の快適性や魅力が向上するよう、登城することへの期待感を創出する取組を合わせて検討していく。
○実施に当たっては、シャトルバス運行の実証実験を行い、近隣にお住まいの方々のご意見を踏まえて、規制の時期や方法などについて慎重に判断する。

スケジュール	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①サイン整備	(観光コンテンツ計画等策定)・工事	工事	
②バナーフラッグ整備	(観光コンテンツ計画等策定)	工事	工事
③グリーンスローモビリティ運行	(回遊観光計画策定)・実証実験	本運行	→
④レンタサイクル整備	(回遊観光計画策定)・実証実験	本運用	→
⑤シャトルバス運行	(回遊観光計画策定)	実証実験	実証実験・本運行

概算事業費	
	(百万円)
①サイン整備	31
②バナーフラッグ整備	66
③グリーンスローモビリティ整備	63
④レンタサイクル整備	13
⑤シャトルバス運行	24

※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。
 ※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

エリア別施策展開



- 春日山地域の取組全体に関する基調色、統一フォント、シンボルマークなどの情報発信に関するルールを策定する。
- 集客が見込めるコンテンツや拠点施設機能等の市場調査を踏まえた**観光コンテンツ計画**を策定する。
- 地域全体の回遊観光に必要な整備を行うため、**回遊観光計画(案内所、二次交通、駐車場の最適化、全体サイン計画)**を策定する。
- 地域の子どもたちの郷土への誇りと愛着を育成する。
- 環境保全活動・研修活動等の収益化や維持管理・観光のマネジメント組織の検討を行う。

主な事業内容

- (1)「観光コンテンツ計画・回遊観光計画・施設基本構想」等の策定
- ①「観光コンテンツ計画・回遊観光計画・施設基本構想」等の策定
- 市場調査により春日山地域全体の観光コンテンツ(春日山神社、林泉寺、ものがたり館等)の優先誘導先、機能分担等を検討・整理した計画を策定するとともに、観光案内所、最適な駐車場・公共交通・レンタサイクル・誘導サインなどの回遊に関するインフラ計画を策定する。
 - 観光コンテンツ・インフラ関連等の各施設の基本構想を策定する。
 - 取組全体に関する基調色、統一フォント、シンボルマークなどの情報発信に関するルールを策定する。

(2)地域学習の促進

- ②地域内の子どもたちの地域学習の促進
- 学校と連携し、謙信公や春日山城への誇りと愛着を育む。

(3)維持管理・観光のマネジメント組織の検討

- ③環境保全活動・研修活動等の収益化や維持管理・観光のマネジメント組織の検討
- 環境保全活動等の資金捻出や、有償ボランティアのモチベーションアップにつなげるとともに、ファンとのつながりを構築する活動を検討する。
- 春日山城跡や観光関連施設の維持管理等を行う組織を検討する。

(4)観光関連事業者の育成の検討

- ④観光関連事業者の育成
- 観光業の担い手となる人材の育成や、新たな取組への支援を検討する。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①「観光コンテンツ計画・回遊観光計画・施設基本構想」の策定	計画策定		
②地域内の子どもたちの地域学習の促進	検討	イベント等	イベント等
③維持管理・観光のマネジメント組織検討	組織検討	運営スキーム検討	設立
④観光関連事業者の育成	検討	検討・イベント等	イベント等

概算事業費

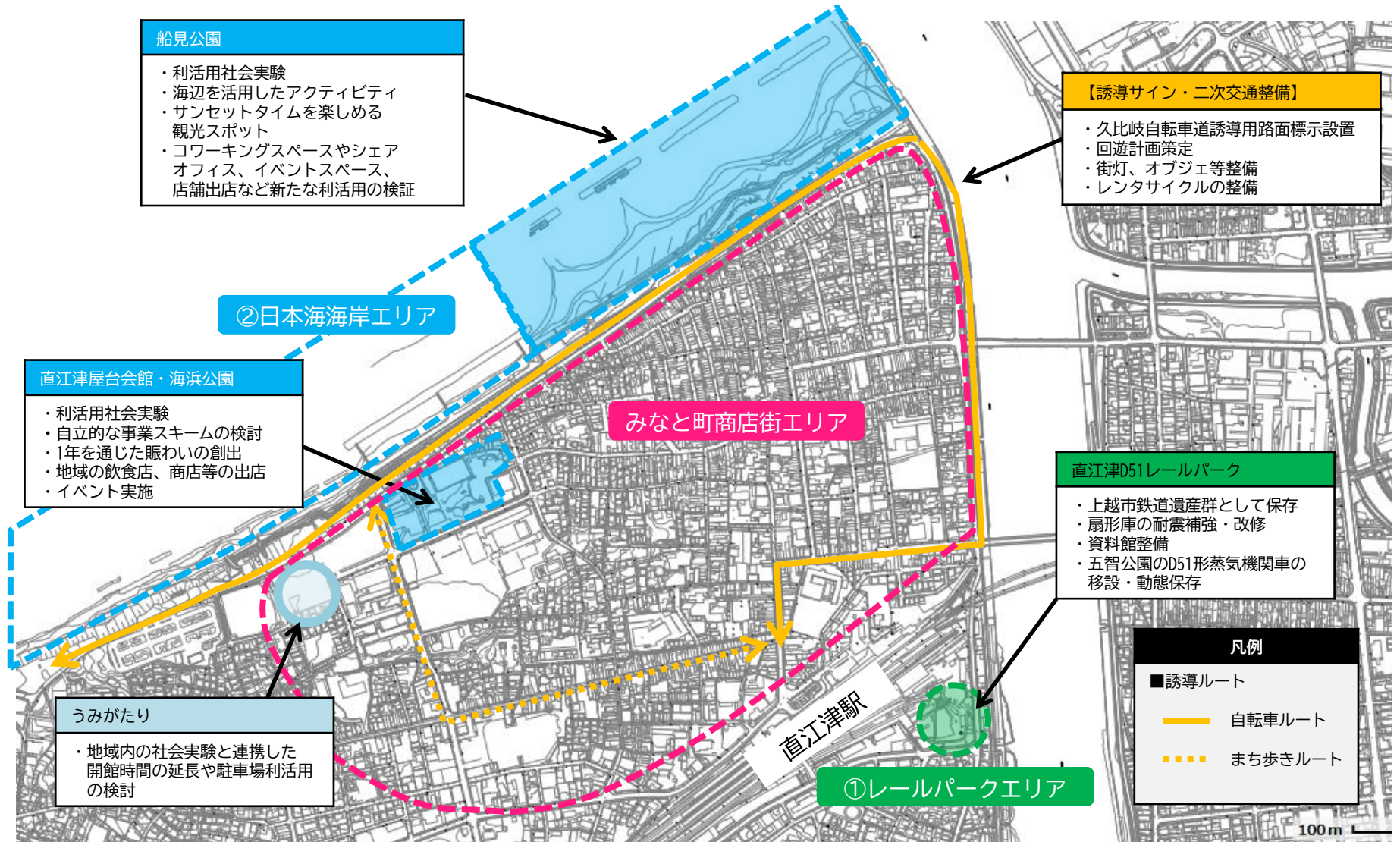
	(百万円)
①「観光コンテンツ計画・回遊観光計画・施設基本構想」の策定	21
②地域内の子どもたちの地域学習の促進	2
③維持管理・観光のマネジメント組織検討	2
④観光関連事業者の育成	2

※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。
 ※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

3 直江津地域の施策

○ 観光地域づくりコンセプトである”歴史と人情の「日本海うみまち」”の実現に向け、地域資源・エリア特性に沿って事業を展開する。

【概算事業費1,005百万円】



※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

直江津地域：エリア別施策展開

① レールパークエリア



- 市内全域の各種鉄道遺産を「上越市鉄道遺産群」として保存し、一時代を支えた鉄道の歴史や文化を後世に伝えていく。
- その取組の一環として、新潟県鉄道発祥の地である「直江津D51レールパーク」を一部鉄道遺産の集約施設として位置付け、整備・保全・継承していく。
- 五智公園のD51形蒸気機関車を移設・動態保存し、乗車体験や運転体験を行う。



主な事業内容

(1) 上越市鉄道遺産群活用事業

① 上越市鉄道遺産群活用基本計画の策定

市内鉄道遺産の現状把握及び評価を行うとともに、市独自の認定制度について検討し、上越市鉄道遺産群活用基本計画を策定する。
資料展示機能・集客機能の拡充や扇形庫の耐震補強、五智公園のD51形蒸気機関車の移設・動態化を見込んだ直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)の基本構想を策定する。

(2) 鉄道博物館整備事業

② 直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)

- 基本設計・実施設計
上越市鉄道遺産群活用基本計画を受けて、直江津D51レールパークの拡充に向けた設計を行う。
- 整備工事
扇形庫の耐震改修、鉄道遺産の展示、資料館等の整備を行う。

(3) D51形蒸気機関車75号機 移設・動態化事業

③ D51形蒸気機関車75号機 移設・動態保存

五智公園のD51形蒸気機関車を直江津D51レールパークに移設し、圧縮空気を動力源とするコンプレッサー方式で動態保存し、乗車体験や運転体験を行う。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
① 上越市鉄道遺産群活用基本計画の策定	計画策定		
② 直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)		建設・改修	
③ D51形蒸気機関車75号機 移設・動態保存	関係者調整	移設・動態化	

概算事業費

	(百万円)
① 上越市鉄道遺産群活用基本計画の策定	10
② 直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)	464
③ D51形蒸気機関車75号機 移設・動態保存	64

※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

五智公園D51
形蒸気機関車



【現状】
上越市地域の宝

新潟県鉄道発祥の地
【直江津駅周辺】

直江津
図書館

犀潟駅

県内最古の木造駅

集約

展示
資料

移設

直江津D51
レールパーク
(扇形庫・転車台)



上越市鉄道遺産群

有間川
駅

戦後(昭和21年)
仮乗降場として開業

高田駅

レールを再利用した
ホーム支柱

二本木駅
スイッチ
バック



イベント時
シャトルバス運行
(直江津駅)

くびき野
レール
パーク

【上越市外】

新津
鉄道
資料館

碓氷峠
鉄道文
化むら

直江津関連の鉄道資料有り



【現状】

- ・コッパル号(市文化財)
- ・車庫、資料館
(国登録有形文化財)
- ・くびき野レールパーク
(上越市地域の宝)

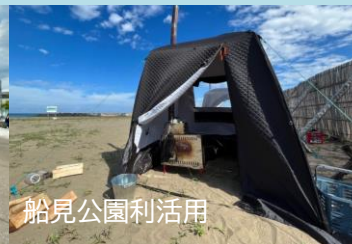
【現状】
駅舎等7件
(国登録有形文化財)

直江津地域：エリア別施策展開

②日本海海岸エリア



- 「直江津屋台会館・海浜公園」と「船見公園」において、地域の活性化に資する施設の利活用に向けた**社会実験**を行う。
- 実験結果を基に、各施設に必要な**改修、備品配置等**を行う。
- 「直江津屋台会館・海浜公園」では、**年間を通じて賑わいを創出し**、利活用が生業として継続できる事業スキームの構築を目指し、実験結果を踏まえ地域を一体的にマネジメントできる組織を検討する。



主な事業内容

(1)直江津屋台会館・海浜公園利活用

①直江津屋台会館・海浜公園利活用社会実験・自立的な事業スキームの検討

- うみがたりへの来場者をターゲットに、年間を通じた新たな賑わいを創出する。定期的なイベントや飲食、物販の出店を行うことで、飲食店等を営む地域の人が気軽に店出でき、稼げる仕組みの構築を目指す。
- また、社会実験を通じ、直江津屋台会館と海浜公園の新たな利活用、必要な環境整備について検証する。
- 社会実験では、生業として継続できる事業スキームの構築を目指し、実験の結果を基に、直江津地域を一体的にマネジメントできる持続可能なまちづくり組織の設立の可能性について市民団体等と検討する。

②直江津屋台会館・海浜公園環境整備

社会実験での検証を基に必要な施設改修、備品配置等を行う。

③直江津屋台会館・海浜公園利活用試験運用・本運用

環境整備後の試験運用を経て、本運用を目指す。

(2)船見公園利活用

④船見公園利活用社会実験

海辺を活用したアクティビティの体験やサンセットタイムのゆったりとした時間を楽しめる空間の演出、海を感じることができるといったコワーキングスペースやシェアオフィス、誰でも利用できるイベントスペース、店舗出店など新たな利活用の検証を行う。

⑤船見公園環境整備

社会実験での検証を基に必要な施設改修、備品配置等を行う。

⑥船見公園利活用試験運用・本運用

環境整備後の試験運用を経て、本運用を目指す。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①直江津屋台会館・海浜公園利活用社会実験・自立的な事業スキームの検討	社会実験		
②直江津屋台会館・海浜公園環境整備	社会実験を踏まえた環境整備		
③直江津屋台会館・海浜公園利活用試験運用・本運用		試験運用、本運用	
④船見公園利活用社会実験		社会実験	
⑤船見公園環境整備			社会実験を踏まえた環境整備
⑥船見公園利活用試験運用・本運用			試験運用、本運用

概算事業費

	(百万円)
①直江津屋台会館・海浜公園利活用社会実験・自立的な事業スキームの検討	30
②直江津屋台会館・海浜公園環境整備	163
③直江津屋台会館・海浜公園利活用試験運用・本運用	0
④船見公園利活用社会実験	30
⑤船見公園環境整備	170
⑥船見公園利活用試験運用・本運用	0

※船見公園の利活用については、令和6年能登半島地震を受け、社会実験実施までの間に防災面からの検討をさらに行うこととする。

※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

直江津地域：エリア別施策展開

回遊動線



- 二次交通の検討を行うため、海沿いにおいて、**レンタサイクルの整備**を行う。
- 誘導サインや、歓迎ムードづくりのための街灯、オブジェ等の整備を行う。



主な事業内容

(1) 誘導サイン整備

① 久比岐自転車道誘導用路面標示設置事業

直江津駅から久比岐自転車道の区間において、路面標示を設置し、サイクリストが迷わず、安全にサイクリングを楽しむことができる環境を提供する。

② 回遊計画策定

表示する内容や設置位置、意匠を定めたサイン、街灯、オブジェ等の整備など、回遊に関する計画を策定し、来訪者の回遊性の向上を図る。

③ 街灯及びオブジェ等整備

回遊計画を踏まえ、誘導や歓迎ムード演出のため、街灯及びオブジェ等を整備する。

(2) 二次交通整備

④ レンタサイクル整備

海沿い周辺において、レンタサイクルを整備する。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①久比岐自転車道誘導用路面標示設置事業	路面標示設置		
②回遊計画策定			計画策定
③街灯及びオブジェ等整備			整備
④レンタサイクル整備	実証実験	本運行	→

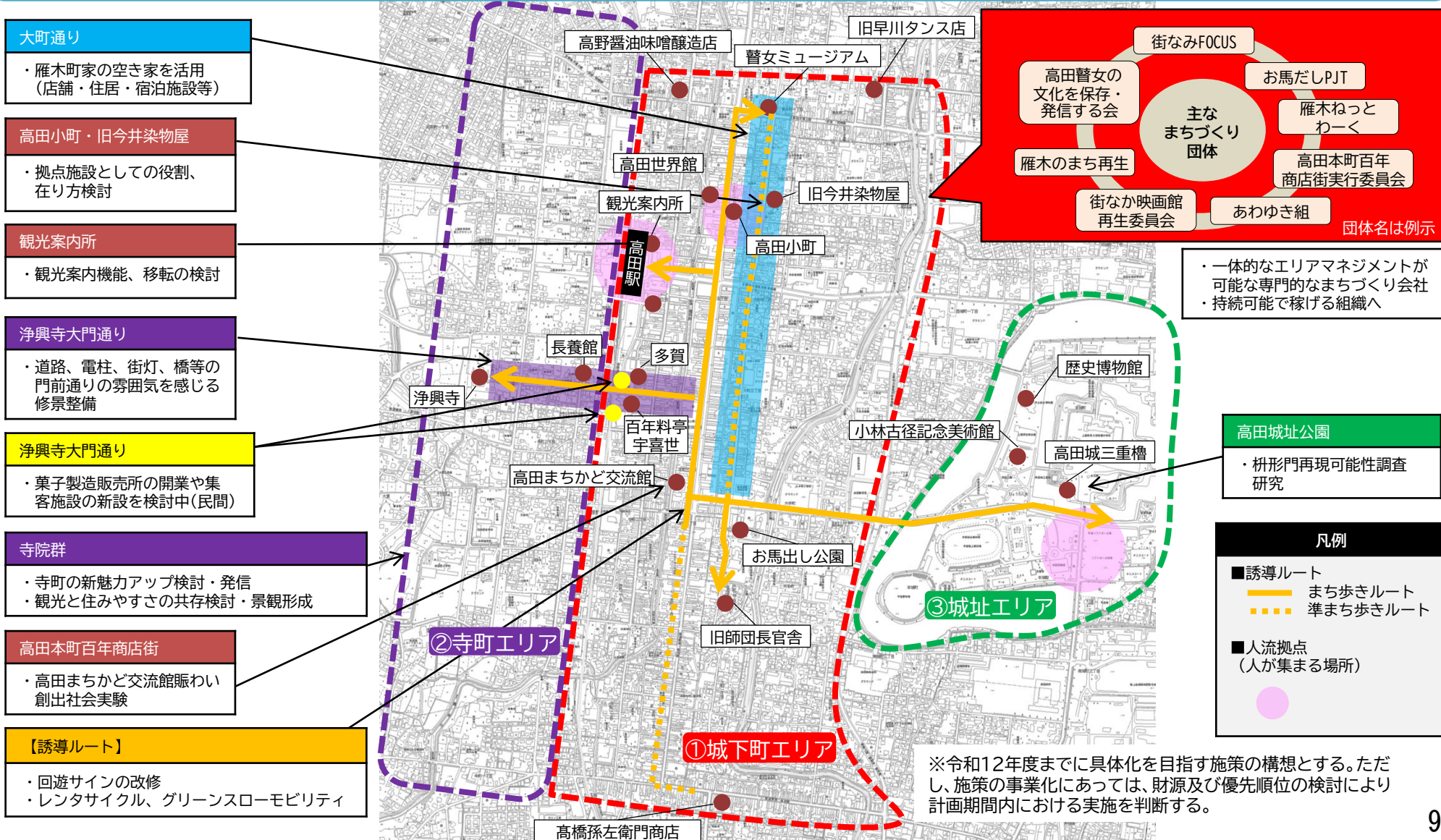
概算事業費

	(百万円)
①久比岐自転車道誘導用路面標示設置事業	2
②回遊計画策定	3
③街灯及びオブジェ等整備	56
④レンタサイクル整備	13

4 高田地域の施策

高田地域：施策展開図

○ 観光地域づくりコンセプトである”雁木でつながる「花咲く共助の城下町」”の実現に向けて、地域資源・エリア特性に沿って事業を展開する。
【概算事業費 234百万円】

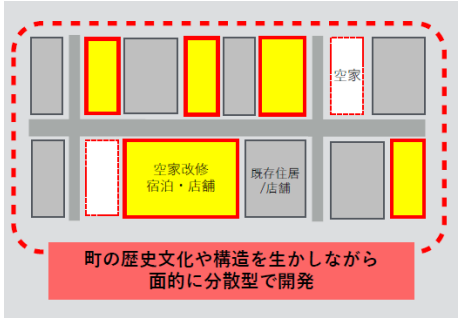


高田地域：エリア別施策展開

①城下町エリア



- 一体的なエリアマネジメントを行い、稼げる持続可能なまちづくり組織の検討
- 街並み保全に資する既存支援制度の拡充



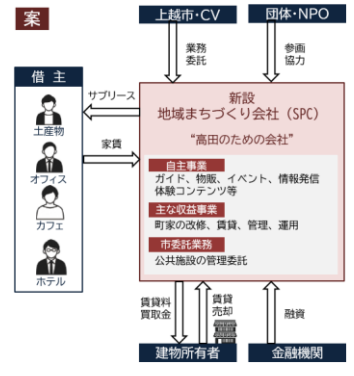
主な事業内容

(1) 持続可能なまちづくり組織検討

① 持続可能なまちづくり組織検討
各団体のまちづくりの取組をつなぎ、公共施設の管理業務や雁木町家の空き家を活用(店舗・住居・宿泊施設等)した収益事業を行いながら、生業として自走し、体験コンテンツの造成や情報発信等一体的なエリアマネジメントができる組織の設立を目指す。

(2) 街並み保全に資する既存支援制度の拡充

② 街並み保全に資する既存支援制度の拡充
雁木整備事業補助金等の既存補助制度の拡充を検討し、雁木や町家による街並み保全に資する支援の強化を図る。



(3) 観光案内・拠点施設在り方検討

- ③ 観光案内在り方検討
観光案内所としての役割、在り方、必要な機能について再検討し、必要に応じて移設や施設改修等を行う。
- ④ 高田小町、旧今井染物屋機能再検討
歴史文化をいかしたまちづくりの拠点として整備した高田小町、旧今井染物屋の在り方について、観光案内所の在り方検討と合わせ、管理運営方法を検討し、必要に応じて機能追加や施設改修等を行う。

(4) 高田まちかど交流館活用社会実験

⑤ 高田まちかど交流館賑わい創出社会実験
貸館であるホールを活用し、市内外からの日常的な賑わい創出をできるように、市民の活動発表に加えてコレクション展示や物販等の社会実験を行い、地域の稼げる場所を目指す。

スケジュール

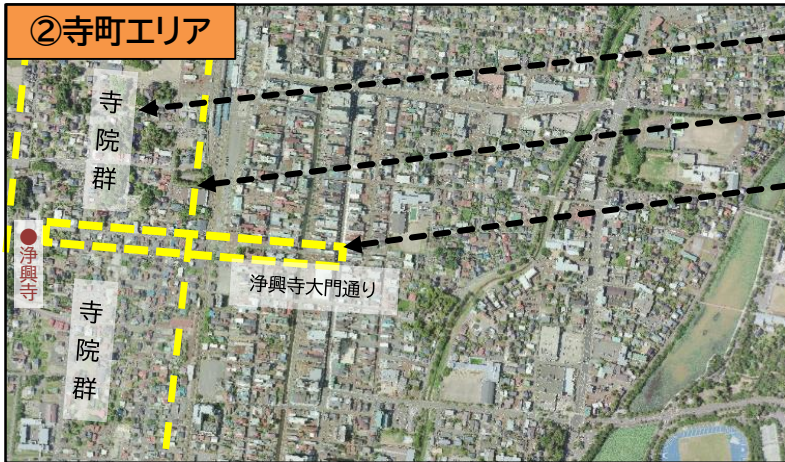
	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
① 持続可能なまちづくり組織検討(民間)	組織検討・設立		
② 街並み保全に資する既存支援制度の拡充	検討・拡充	支援実施	支援実施
③ 観光案内在り方検討	在り方検討		
④ 高田小町、旧今井染物屋機能再検討	機能検討		
⑤ 高田まちかど交流館賑わい創出社会実験		社会実験	本運用

概算事業費

	(百万円)
① 持続可能なまちづくり組織検討	1
② 街並み保全に資する既存支援制度の拡充	30
③ 観光案内在り方検討	0
④ 高田小町、旧今井染物屋機能再検討	0
⑤ 高田まちかど交流館賑わい創出社会実験	5

※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあつては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

高田地域:エリア別施策展開



- 「花の寺町」、「寺町でカフェ」など新たな魅力の創造やデジタルコンテンツの活用など、寺町の**魅力アップ**に向けた検討、取組を行い、その魅力を発信していく。
- 住居区域において、住民、寺院、行政が連携し、先進地の事例を研究しながら、観光と住みやすさの共存を検討するワークショップを開催し、観光地域づくりにつながる**景観形成**の取組等を行っていく。
- 浄興寺大門通りにおいて、道路、電柱、街灯、橋等の門前通りの雰囲気を感じる景観の整備を行う。



主な事業内容

- (1) 寺町の魅力アップ**
- ① 寺町の魅力アップ検討会
「花の寺町」、「寺町でカフェ」など、新たな魅力の創造やデジタルコンテンツを活用した発信など、魅力アップ検討会を開催する。
- ② 寺町の魅力発信
各寺院での体験や魅力をつなぎ合わせたモデルコースをホームページ(上越観光Navi)等により発信するとともに、地元まちづくり協議会と連携し、寺町散策マップの更新、増刷を行う。

- (2) 景観形成**
- <住居区域>
- ③ 観光と住みやすさ共存検討ワークショップ・景観形成の取組
住民、寺院、行政が連携し、先進地の事例を研究しながら、観光と住みやすさの共存を検討し、観光地域づくりにつながる景観形成の取組等を行っていく。
- <浄興寺大門通り>
- ④ 浄興寺大門通り修景整備計画の策定・整備
高田本町通り(北国街道)から寺町エリアへの誘導ルートに位置付けている「浄興寺大門通り」において、住民等とともに道路、電柱、街灯、橋等の門前通りの雰囲気を感じる修景の整備計画を策定し、修景整備を行う。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
① 寺町の魅力アップ検討会	検討会		
② 寺町の魅力発信	発信・マップ増刷	→	→
③ 観光と住みやすさ共存検討ワークショップ・景観形成の取組	ワークショップ開催・取組実施	取組実施	
④ 浄興寺大門通り修景整備計画の策定・整備	計画策定等	整備	

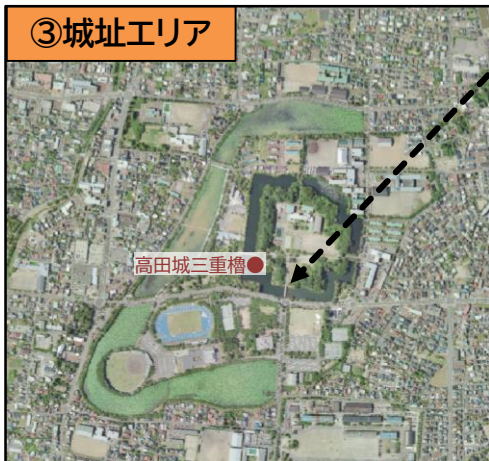
概算事業費

	(百万円)
① 寺町の魅力アップ検討会	0
② 寺町の魅力発信	1
③ 観光と住みやすさ共存検討ワークショップ・景観形成の取組	12
④ 浄興寺大門通り修景整備計画の策定・整備	103

※令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあつては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。

高田地域：エリア別施策展開

③城址エリア



令和2年に文化庁が「史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準」を決定し、史実に忠実な従来の「復元」とは別に、学術的な調査を尽くしても史資料が十分にそろわない場合に、それらを多角的に検証して再現することで、史跡等全体の保存及び活用を推進する行為を「復元的整備」として定義し、再建可能としたことから**再現の可能性に向けた調査研究を行う。**



出典：高田城再現CG「三城物語」

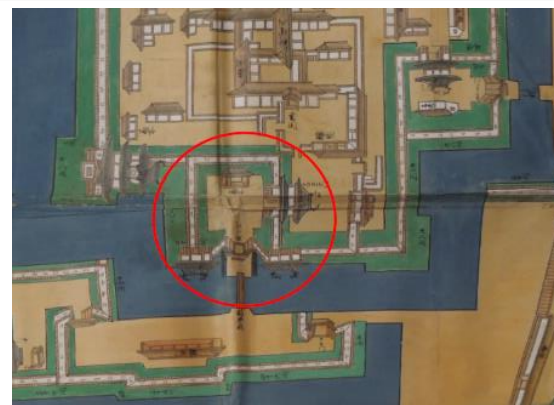
主な事業内容

(1) 柵形門再現可能性調査研究

① 柵形門再現可能性調査研究

基礎資料の整理、新たな資料の調査、各種課題の抽出及び検討課題の整理を行い、再現可能性について調査研究する。整備について、調査研究の結果を踏まえ検討を行う。

高田城内絵図



〔榑原家所蔵・公財旧高田藩和親会管理
榑原家史料〕

スケジュール

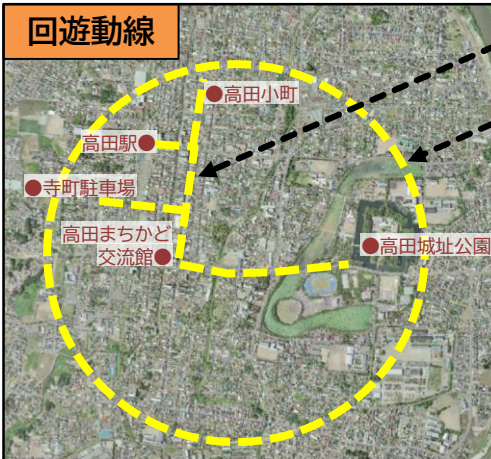
	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①柵形門再現可能性調査研究	調査研究		

概算事業費

	(百万円)
①柵形門再現可能性調査研究	13

高田地域：エリア別施策展開

回遊動線



- 歩行者の誘導ルートの考え方や優先的に誘導する施設等を定めた「高田街なか回遊サインマニュアル(平成31年3月策定)」を改訂し、**誘導ルートの考え方を再整理**する。
- 二次交通**は、高田駅⇄高田城址公園間の路線バスが多くあるため公共交通の見える化を行うとともに、グリーンスローモビリティ及びレンタルサイクルの運行・整備を行う。



主な事業内容

(1)高田街なか回遊サイン

①高田街なか回遊サインマニュアルの改訂

策定から5年が経過したため、誘導ルートの考え方や優先的に誘導する施設等を見直しマニュアルを改訂する。

②サイン改修

施設等の変化を修正するため、サインの表示を刷新するとともに、サイン表示を活用して収入を得る仕組みを検討する(飲食店紹介による広告料等)。

(2)二次交通整備

③グリーンスローモビリティ運行

運行ルートを検討し、実証実験の結果を踏まえ、運行する。

④レンタサイクル整備

高田城址公園周辺において、レンタサイクルを整備する。

スケジュール

	前期 (R6~R8)	中期 (R9~R10)	後期 (R11~R12)
①高田街なか回遊サインマニュアルの改訂		改訂	
②サイン改修		改修	
③グリーンスローモビリティ運行		実証実験	本運行
④レンタサイクル整備	実証実験	本運用	→

概算事業費

	(百万円)
①高田街なか回遊サインマニュアルの改訂	2
②サイン改修	5
③グリーンスローモビリティ運行	49
④レンタサイクル整備	13

付属資料

策定経過

- 本計画の策定に当たっては、令和4年度及び令和5年度の2か年に渡って検討を行った。
- 令和4年度は、市内の若手を中心とした部局横断の検討チームが、参考となる事例収集や当市の歴史文化等の学習、キーパーソンとなる地域の方々から地域の現状をお聞きすることなど、当市における通年観光の検討に必要となる情報収集等に取り組んだ。
- 令和5年度は、通年観光の基本方針や具体的な施策を計画としてとりまとめるため、令和4年度に収集した各種の背景情報を基に、議論の土台となる計画のたたき台を作成し、春日山、直江津、高田それぞれの主要な団体の皆さまと意見交換を実施するとともに、いただいた意見や考えは計画に反映し、とりまとめている。令和5年度に実施した意見交換の参加団体は下記のとおり。

計画策定に向けて令和5年度に意見交換を行った団体

■春日山地域

団体名
<ul style="list-style-type: none"> ・春日山城跡保存整備促進協議会 ・春日山神社 ・上越観光コンベンション協会 ・上越商工会議所

■直江津地域

検討区分	団体名
鉄道	・直江津まちづくり活性化協議会
食	・直江津まちづくり活性化協議会 ・飲食業者
周遊・海沿い	・直江津まちづくり活性化協議会

■高田地域

検討区分	団体名
雁木町家	<ul style="list-style-type: none"> ・越後高田・雁木ねっとわーく ・雁木のまち再生 ・城下町高田まちねっと ・高田誓女の文化を保存・発信する会 ・街なみFocus
寺町	<ul style="list-style-type: none"> ・浄興寺大門通りまちづくり協議会 ・寺町まちづくり協議会

※「 」内は検討区分

年月	団体との意見交換	市民の皆さんとの意見交換	議会説明
令和5年 5月	○高田地域「雁木町家」(5/25) ○春日山地域(5/26) ○高田地域「寺町」(5/31) ※同日に2回		○通年・広域観光推進特別委員会勉強会(5/26)
6月	○直江津地域「周遊・海浴い」(6/14~7/7) ※個別訪問 ○直江津地域「食」(6/19~8/1) ※個別訪問 ○直江津地域「鉄道」(6/20~7/14) ※個別訪問		
7月	○春日山地域(7/5)		
8月	○高田地域「寺町」(8/8) ○高田地域「寺町」(8/10) ○直江津地域「周遊・海浴い」「食」(8/23) ○高田地域「雁木町家」(8/31)	○市民と市長との対話集会【直江津地域】(8/17) ○市民と市長との対話集会【春日山地域】(8/28) ○市民と市長との対話集会【高田地域】(8/30)	
9月	○直江津地域「鉄道」(9/5) ○春日山地域(9/14) ○高田地域「寺町」(9/29) ※同日に2回		
10月	○高田地域「雁木町家」(10/3) ○直江津地域「周遊・海浴い」「食」(10/10) ○直江津地域「鉄道」(10/11)		
11月	○春日山地域(11/1) ○直江津地域(11/2) ○高田地域(11/6)		○通年・広域観光推進特別委員会(11/15)
令和6年 1月 (予定)		上越市通年観光計画(案)についてパブリックコメント実施(1/下旬~2/下旬)	○通年・広域観光推進特別委員会(1/18)
3月 (予定)		上越市通年観光計画(案)についてパブリックコメント結果公表(3/下旬~4/下旬)	

上越市通年観光計画

令和6年 月策定

上越市文化観光部魅力創造課

〒943-8601新潟県上越市木田1丁目1番3号

T E L (025)520-5739 FAX (025)520-5853

メール miryokusouzou@city.joetsu.lg.jp

U R L <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>